

【孤独・孤立対策】重層的支援体制整備事業を活用した多分野協働プラットフォーム

長く続いたコロナ禍は、孤独・孤立の問題の顕在化、深刻化の原因の一つとなり、そこに物価高騰も加わり、生活困窮などで不安や悩みを抱える人、悩みが深刻化する人が増え、孤独・孤立に悩む人に対するきめ細かな対応の強化が喫緊の課題となっている。

支援を必要とする人に、迅速に支援を届けるためには、福祉分野だけに限らず、様々な関係機関と連携を深める必要があることから、令和4年度から「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」に取り組んでいる。

伊勢市では、重層的支援体制整備事業における「多分野協働プラットフォーム」を孤独・孤立対策の「伊勢市多分野協働プラットフォーム」に位置付け、福祉分野をはじめ、雇用、産業、農業等の幅広い分野と連携・協働しながら、孤独・孤立による「働きづらさを抱えた人」への様々な支援について継続的に検討している。

実態把握・分析、情報整理・共有、各課(機関)の連携・協働の検討



作成：伊勢市福祉総合支援センター

周知・啓発

- ・市民への周知（相談窓口・支援内容・協力企業紹介等）
 - ・関係機関・企業への周知（周知啓発・協力依頼等）
- ※リスト作成、SNS等の充実、市・関係機関の取組発信など

社会参加

- ・気軽に集まることができる地域の居場所の充実
- ※居場所づくり、地域活動への参加、ボランティア参加など

就労支援

- ・一人ひとりに合わせたオーダーメイド支援
- ※職場見学、就労体験、中間的就労、短時間雇用など

協働

検討

分野横断的な庁内外協働の新たな支援策の創出